

第33回 福岡ジュニアヨット選手権大会 [Aクラス・Bクラス]

帆走指示書

第33回福岡ジュニアヨット選手権大会は、2021年7月10日～11日福岡市ヨットハーバーに大会本部を置き、今津湾にてレースが開催される。

1. 適用規則

本大会は、帆走指示書によって変更があるものを除き、全レースをセーリング競技規則 2021-2024年(以下 RRS)に定義された「規則」を適用する。

2. 競技者への通告

- 2.1 競技者に対する通告・公示は、LINE オープンチャットによって掲示される。
- 2.2 公式掲示板は、LINE オープンチャットのみとする。
URL
https://line.me/ti/g2/9lfo3DwNYxNGsDPr4bArA?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default

3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、それが発効する当日の第1レース・スタート予告信号予定時刻の60分前までに掲示される。但し、レース日程の変更は、それが発効される前日の18:00までに、掲示されるものとする。
- 3.2 海上において変更を通知する場合は、本部船に『L』旗を掲揚し、口頭で通知する。

4. 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は、大会本部近くに掲げられる。
- 4.2 『D』旗(音響信号1声)が掲げられた時は、出艇を許可する。競技者は、この旗が掲揚されるまでハーバーを離れてはならない。予告信号は、D旗掲揚後30分以降に発せられる。
- 4.3 帆走指示書 5.1 に示したレースに対して『AP』旗を掲揚しない。予告信号の30分前までに『D』旗を掲揚しない場合、そのレースのスタートは、時間に定めなく延期している。
- 4.4 帆走指示書の4.2において、『D』旗がクラス旗の上に掲げられた場合、そのクラスのみ適用される。

5. レースの日程

- 5.1 本大会はAクラスBクラスともに、7レースを予定している。その日最初のレースの、スタート予告信号予定時刻は次のとおりとする。
- | | |
|-----------------|-------|
| 7月10日(土) レース日 | |
| Aクラス スタート予告信号時刻 | 12:25 |
| 7月11日(日) レース日 | |
| Aクラス スタート予告信号時刻 | 09:55 |
- 5.2 大会の最終日は13時00分より後に予告信号が発せられることはない。

6. クラス旗

クラス旗は以下のものを使用する。

クラス	旗
Aクラス	白地に赤字の「OP」旗

Bクラス 黄色地に黒字の「OP」旗

7. レース・エリア

おおよそのレース・エリアを、別添図Aに示す。

8. コース

添付図Bに帆走すべきコースを示す。

9. マーク

- 9.1 マーク1、2、3は、黄色円筒形のブイとする。
- 9.2 スタート・マークはスターボードの端にいる『オレンジ』旗を掲揚している本部船と、ポートの端にある第3マークとする。
- 9.3 フィニッシュ・マークはポートの端にいる『オレンジ』旗を掲揚している本部船と、スターボードの端にある黄色円柱型のブイとする。

10. スタート

- 10.1 レースは RRS26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前とし、スタートさせる。
- 10.2 スタート・ラインは本部船上のオレンジ色旗を掲げたポールとポートの端の第3マークのコース側との間とする。
- 10.3 レースが海上にて引き続き行われる場合は、次のレースのスタート予告信号時刻(Aクラスの予告信号時刻)を本部船に掲示する。
- 10.4 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに「スタートしなかった艇(DNS)」と記録される。これは、RRS 附則 A4 と A5 を変更している。
- 10.5 Bクラスのスタート予告信号は、Aクラスがスタートした後に発せられる。
- 10.6 Bクラスの艇はAクラスのスタート手順の間、スタート・エリアから離れていなければならない。

11. スタートにおける特別な規則

- 11.1 レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示される RRS30.4(黒色旗規則)に違反した艇のセール・ナンバーは、本部船のスターンに設置した掲示板に掲示される。掲示された艇は直ちにコース・サイド及びスタート・エリアから離れなければならない。

12. コースの次のレグの変更

- 12.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は元のマーク(またはフィニッシュ・ライン)を新しい位置に移動する。
- 12.2 次のマークの位置変更は、RRS33に基づき行われる。新しいマークが設置されていなくても、先頭艇が新しいレグを始める前に反復音響と共にC旗を掲揚する。なお、コンパス方位及びレグの長さの変更を示す「+」及び「-」の掲示は行われぬ。これは、RRS33(a)及び(b)を変更している。

13. フィニッシュ

- 13.1 フィニッシュ・ラインは、9.3の本部船上で『青』旗を掲揚しているポールと、スターボードの端のフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

14. ペナルティー

- 14.1 RRS42違反に対し付則 P を適用する。
- 14.2 RRS 付則 T を適用する。

15. タイム・リミット

- 15.1 タイム・リミットは、Aクラス90分、Bクラス60分とする。
- 15.2 先頭艇(コースを帆走してフィニッシュした艇)がタイム・リミット内にフィニッシュした場合、レースは先頭艇フィニッシュ後15分で終了する。15分以内にフィニッシュしなかった艇はDNFとして記録される。この項は、RRS35及び RRS 付則 A4 及び A5 を変更している。スタート時にOCS、UFDもしくはBFDと記録された艇は、先頭艇とはならない。

16. 抗議と救済の要求

- 16.1 抗議しようとする艇は、フィニッシュ後速やかにフィニッシュラインに位置する本部船に口頭で抗議の意思を伝えなければならない。(コース短縮の場合は、フィニッシュラインを設置しているレース運営艇に伝えなければならない)
- 16.2 抗議書の提出及び抗議締切時間
 - a) 抗議書の交付及び抗議の受付はプロテスト委員会事務局で行う。
 - b) 全ての抗議は、その日の当該クラスの最終レース終了後60分以内に提出されなければならない。この時刻は公式掲示板に掲示される。この項は RRS61. 3を変更している。
 - c) 救済の要求の提出期限は上記の抗議締切時間内、または当該ケースから60分以内のいずれか遅い方とする。この項は RRS62. 2を変更している。
- 16.3 抗議の公示
レース委員会またはプロテスト委員会から艇に抗議をする場合、その内容を艇に伝えるため、「抗議の公示」を公式掲示板に掲示する。
- 16.4 抗議の通告
審問の場所及び時刻、抗議の当事者及び証人を競技者に知らせるため、「抗議の通告」を抗議締切時刻後約20分以内に公式掲示板に公示する。
- 16.5 プロテスト委員会は、RRS42に違反した艇のセール・ナンバーを抗議締切時間内に公式掲示板に公示する。
- 16.6 審問の順序及び待機方法
審問は基本的に抗議受付順に行われる。当事者は、連絡が取れるように待機していなければならない。
- 16.7 審問の再開要求
審問の再開要求は、次の時間内に提出されなければならない。この項は RRS66を変更している。
 - a) 判決を通告された翌朝9時までに。
 - b) 大会最終日は判決を通告された後20分以内。

17. 得点

- 17.1 本大会は A クラス B クラスとも7レースを予定し、1 レース完了で成立する。
- 17.2 完了したレースが 3 レース以下の場合、艇の得点は全レースの得点の合計とする。4 レース以上完了した場合の艇の得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

18. 安全

- 18.1 出艇・帰着申告
チーム代表者は、大会本部より配布される所定用紙に出艇する選手、コーチボートを記入し、受付に提出しなければな

らない。これは、出艇前・帰着後にすみやかに行わなければならない。

- 18.2 各選手は、出艇から帰着までの間、ライフジャケットを正しく着用しなければならない。ウエットスーツは、これらの代用とみなされない。これは RRS40を変更している。
- 18.3 レース委員会及びプロテスト委員会は、艇の安全な帆走が困難と判断した場合は、その艇にリタイアを命じることができる。また、必要とみなされた場合は、選手に帆走困難の艇を放棄し、レスキュー・ボートに乗艇するように命じることができる。これらの安全に関する指示に従わない場合、失格となる場合がある。
- 18.4 レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 18.5 大会関係者(運営・選手・付添人)、すべての来場者は健康管理シートに関するチェックを大会期間中入力すること。大会期間中は当日の朝5時～8時まで完了すること。健康管理シートは LINE オープンチャットから入力すること。

19. 装備の交換及び計測のチェック

- 19.1 損傷または紛失した装備を交換する場合は、レース委員会の承認を得なければならない。
- 19.2 全ての艇は、レース委員会の指示による計測にいつでも応じなければならない。

20. 運営艇、ジュリー・ボートの標識

- 20.1 本部船を除くその他の運営艇は緑色旗を掲げている。
- 20.2 プロテスト・ボートはプロテスト旗(白地に赤字でP)を掲げている。

21. Bクラス艇の識別

Bクラス艇はマスト・トップに黄色リボンを付けなければならない。

22. コーチ・ボート(兼レスキュー・ボート)

- 22.1 コーチ・ボート(兼レスキュー・ボート)は青色旗を掲げている。
- 22.2 コーチ・ボートを出艇させる場合は、事前にレース委員会の許可を得なければならない。
- 22.3 コーチ・ボートは、準備信号以後は全ての艇がフィニッシュするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。
- 22.4 コーチ・ボートは、レース委員会からレスキューの指示があれば、レスキュー・ボートとして活動しなければならない。この場合、そのコーチ・ボートには 22.3 は適用されない。

23. ごみの処分

ごみは、支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

24. 賞

レース公示(NOR)の通りとする。

25. 運営者の責任範囲

- 25.1 主催団体、公式役員、及びボランティアは、大会期間中における人身事故、物品の損失及び個人的な負傷、あるいは事故に関して、一切の責任を負わない。
- 25.2 競技者は、各自の責任において参加しなければならない。

別添図A レース・エリア
Aクラス・Bクラス



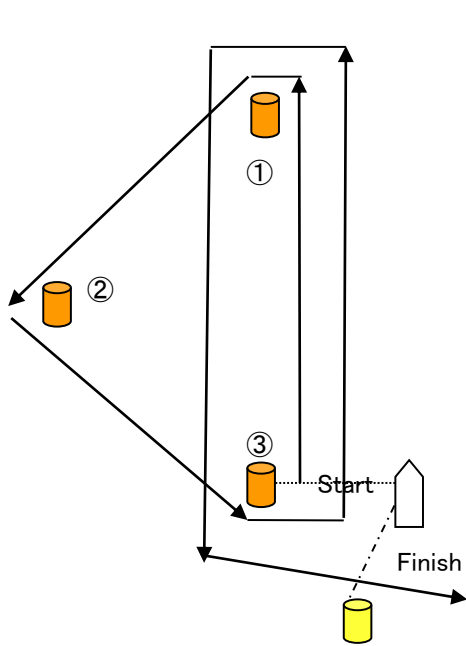
Cクラス(ハーバー内)



別添図B レース・コース

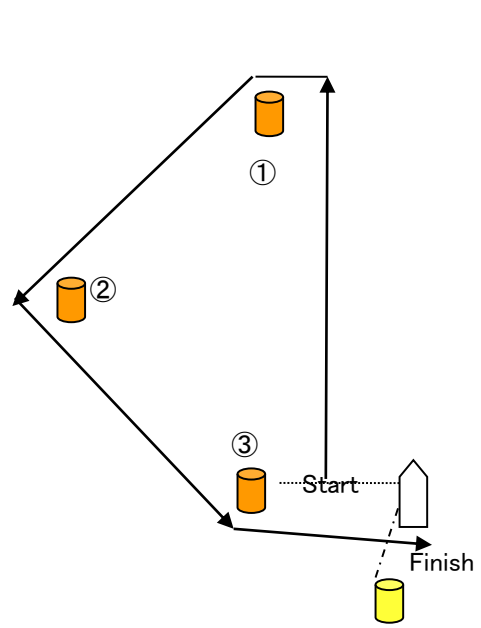
Aクラスのコース

S-①-②-③-①-③-F



Bクラスのコース

S-①-②-③-F



Cクラスのコース

S-①-F

タックでマークを回れるように、風向によってマークの回転方向が変わることがあります。

